

理念

世界中に、健康で教育を受けた
質の高い中間層を創る。

- 新しい技術を生み出し、次世代を担う人材を育てる。
- 持続可能な社会やイノベーションに必要な仕組みを作る。
- 技術を使って新たな基幹産業を創生する。

「公益資本主義」の提唱・実践

沿革

1980
年代

- 1985年スタンフォードで創設。第1回ワールド・アライアンス・フォーラム (Networking85) を東京で開催。
- 外務省、通産省、郵政省、米政府の後援を受け、日米間の先端技術分野における通商摩擦緩和の成果を挙げ、日米財界人会議メンバーから高い評価を得る。

1990
年代

- ICT、半導体、バイオ、創薬分野の米国先端技術ベンチャーと日本大企業の戦略的事業提携を促し、日本の産業構造転換に尽力。

2000
年代

- 国連経済社会理事会の特別協議資格を持つ米合衆国公益法人のアライアンス・フォーラム財団の姉妹組織として一般財団法人アライアンス・フォーラム財団を東京に設立(2011)。
- 日米両国の他、アフリカ(ザンビア拠点)とアジア(バングラデシュ拠点)を中心に、世界を変える開拓者として、様々な人組織と協働しながら活動を展開。

公益資本主義 (Public Interest Capitalism : PIC)

- 「公益」とは、私たち及び私たちの子孫の経済的及び精神的な豊かさである。
- 「会社」とは、社会の「公器」であり事業を通じて社会に貢献するもの。
- 社員・顧客・仕入先・地域社会・地球といった全ての「社中」に貢献することにより企業価値を上げ、その結果として、株主にも利益をもたらすという考え。



※公益資本主義を示す図(右記)を経済財政諮問会議(2013)に提示、ダボス会議(2020)でも引用された。

組織図



AFF : Alliance Forum Foundation
AFDP : Alliance Forum Development Programme

公益資本主義
研究部門

- World Alliance Forum
- 公益資本主義研修・懇話会
- 理論研究(会社法、会計学)

AFDP
途上国事業部門

- 社会事業
- 研修事業
- 事業開発支援事業

海外拠点:
バングラデシュ、ザンビア

新産業
創生部門

- World Alliance Forum in San Francisco (WAFSF)
(アジア、アフリカでも開催)

(アライアンス・フォーラム財団は1985年カリフォルニアに創設された米国内国歳入法第501条C項3号の規定に基づく公益法人で、国連経済社会理事会特別協議資格を有する非政府機関)

グローバルパートナー



国連



SUN
(栄養改善国際機関)
(WHO、UNICEF、FAO、WFP)



栄養不良改善運動
(ザンビア)



AfDB
(アフリカ開発銀行)



(国際協力機構)



農村向上化委員会
(バングラデシュ)



COMESA
(東南部アフリカ経済共同体)



(米州開発銀行)



TMS
女性の地位向上運動
(バングラデシュ)

WIEF
FOUNDATION
(世界イスラム経済フォーラム)

事業内容

公益資本主義研究部門

World Alliance Forum

- ・ **ワールド・アライアンス・フォーラム東京円卓会議 (WAF@東京)**
 - 公益資本主義を提案する最上位会議 (一般聴衆参加)
- ・ **アライアンス・フォーラム・グローバル会議 (AFG@三島)**
 - 経済界、学術界、政界、官界による公益資本主義の推進活動集中討議会
- ・ **ワールド・アライアンス・フォーラムin あわじ(ITあわじ会議、WAF@淡路)**
 - 次世代基幹産業を創造するための国際会議

公益資本主義 研修・懇話会

- ・ **公益資本主義研修**
 - 公益資本主義実践例の講義・討議、次世代経営者向け包括的シリーズ研修
- ・ **公益資本主義役員懇話会**
 - 公益資本主義を実践する経営者を変えた、経営トップ間の対話、議論会合

理論研究

- ・ ROEIに代わる経営指標として、Return on Company (ROC)を開発中。



(WAF)



(AFG)



(公益資本主義研修)



(公益資本主義役員懇話会)

2000年代

- ・ 「企業は誰のものか」と題する論説を 読売新聞に寄稿(2003)
- ・ 短期主義を助長する「四半期開示義務廃止」を 提言(2005)
- ・ 東京財団政策研究所と共同研究(2008)

2010年代

- ・ WAF東京円卓会議開催(2011~)
- ・ AFG会議開催(2013~)
- ・ 経済財政諮問会議で提言(2013~)
- ・ 公益資本主義研修開催(2014~)
- ・ **決算短債の業績予想欄記載義務を任意記載に変更(2017)**
- ・ 未来投資会議で提言(2016~)
- ・ ROC指標開発着手(2017~)
- ・ 四半期決算開示義務廃止を提言(2017)
- ・ 公益資本主義役員懇話会(2018~)

社会事業

- ・ 2008年着手。アフリカの貧困層の子どもの約4割が栄養不良であり、脳の発達障害のリスクがあることから、スピルリナ(アフリカ原産の高蛋白質の食用藻)の現地培養を行い、栄養改善活動の先陣を切る。
- ・ 現地政府、NGO、国連機関(UNICEF,WHO,WFP,FAO)、地域住民等と連携しプロジェクトを実施。現地に持続可能な事業・産業の創生支援を行う。

研修事業

- ・ 大企業経営幹部候補生を対象に、今世紀、地球上どこに行っても通じる経営能力を持てるよう、途上国で研修を行い、社会変革型新規事業を生み出す力を養う。
- ・ 社会の複雑な構造を理解し、自身の思考や価値観を問い直す事を通して、真のグローバルリーダーシップを形成する。

事業開発 支援事業

- ・ 地球規模の社会課題を解決できる「技術」を持った企業の途上国進出支援。
- ・ 各国の歴史・文化を尊重し、豊かな社会に向け、各国パートナーと共同しながら、現地に根付く、持続可能な事業モデルを形成する。



(緑色の高蛋白藻の藻「スピルリナ」栽培風景@ザンビア)



(栄養教育実施風景@バングラデシュ)



(研修事業、withザンビア政府@ザンビア)

2000年代

- ・ ザンビア共和国(2008~)
 - 「スピルリナ(高栄養食物)を活用した栄養改善事業」開始
- ・ バングラデシュ人民共和国(2009~)
 - 「BRAC(NGO)連携によるマイクロファイナンス研修」開始

2010年代

- ・ ザンビア共和国(2010)
 - 「大学間をつなぐXVD遠隔教育システム」構築
- ・ バングラデシュ人民共和国(2012-13)
 - 「太陽光プロジェクト」実施
- ・ バングラデシュ人民共和国(2013)
 - 「防虫剤処理蚊帳を通じたマラリア撲滅プロジェクト」実施
- ・ バングラデシュ人民共和国(2012-13)
 - 「栄養改善を目的とした新規食品開発調査」実施
- ・ アフリカ19か国(COMESA) (2016)
 - 「貧困層を中間層に導くための金融制度改革の政策提言」
- ・ バングラデシュ人民共和国(2016-18)
 - 「食物へのアクセス制限がある塩害地域の子どもの栄養改善プロジェクト」実施
- ・ ザンビア共和国(2017~)
 - 「社会変革型グローバルリーダー育成事業」開始
- ・ バングラデシュ人民共和国(2018~)
 - 「訪問型保健指導におけるポータブルエコの導入調査」開始

2010年代

- ・ WAFSF2013で宣言した通り、2014年に薬事法が改正され医薬品医療機器等法、再生医療法等が制定。
- ・ 「寿命を全うする直前まで全ての国民が健康に暮らせる社会をつくる」ため、日本政府と共催でWAFSFを開催し研究成果、医療制度改革などを毎年議論、政策提言する。

World Alliance Forum in San Francisco

- ・ 企業、研究者、業界団体、政策立案者が一堂に会し、再生医療など先端医療技術の事業化と産業化を促進するエコシステム。
- ・ 1985年以来開催してきた情報通信・バイオ分野でのWorld Alliance Forumが起源。
- ・ 2019年からは「がん撲滅サミット」を共催。



(左から敬称略:ポール・バーク、山中伸弥、アーベング・ワイズマン)

米国アライアンス・フォーラム財団、一般財団法人アライアンス・フォーラム財団 役員一覧

【理事会】

原 丈人(会長)
佐々木 浩二
鳥井 信吾
三田村 秀人
福田 米蔵
磯野 昌英
丹治 幹雄
吉澤 誠治
渡辺 恭子

デファ・パートナーズグループ会長/内閣府参与(※/☆)
株式会社アドイン研究所 代表取締役社長/日本スタンフォード協会元会長(☆)
サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副会長(※/☆)
元ザンビア駐節特命全権大使/元ニュージランド駐節特命全権大使(※)
元ジンバブエ駐節特命全権大使/一般財団法人アフリカ協会 特別研究員(※)
DEFTA Partners Principal/バングラデシュBracNet取締役(※)
一般財団法人アライアンス・フォーラム財団 公益資本主義研究部門長(※)
一般財団法人アライアンス・フォーラム財団 途上国事業部門長、管理部門長(※)
ディレクター、DEFTA Partners CFO(☆)

【カウンスル・メンバー/評議員】

安西 祐一郎
安藤 宏基
上村 達男
大島 賢三
岡 素之
神永 晋
菅 正広
熊平 美香
黒川 清
黒田 章裕
慶應義塾大学 名誉教授/独立行政法人日本学術振興会 前理事長(☆)
日清食品ホールディングス株式会社 代表取締役社長、CEO(☆)
学校法人早稲田大学 名誉教授/明治安田生命保険相互会社 評議員(※)
一般財団法人アフリカ協会 理事長/元国連特命全権大使(※)
住友商事株式会社 特別顧問/日本商工会議所 特別顧問(※)
SKグローバルアドバイザーズ株式会社 代表取締役(※/☆)
世界銀行元理事/明治学院大学大学院 教授/GRAMIN日本 理事長(☆)
一般財団法人 クマヒラセキュリティ財団 代表理事(※)
特定非営利活動法人 日本医療政策機構 代表理事(☆)
コクヨ株式会社 代表取締役会長/関西経済同友会元代表幹事(☆)

【カウンスル・メンバー/評議員】

小室山 宏
島田 精一
鈴木 博之
竹中 統一
原 健人
布施 勉
藤原 洋平
松浦 功
三田村 秀人
モンテ カセム
山田 邦雄

【監事】

佐々木 浩二

【特別顧問】

伊藤 雅俊
柳井 俊二

三菱総合研究所理事長/東京大学元総長(☆)
学校法人津田塾大学 理事長/日本ユニシス元社長/住宅記入庫元総長(☆)
丸一鋼管株式会社 代表取締役会長兼CEO/関西経済同友会元代表幹事(※)
株式会社竹中工務店 取締役名譽会長(☆)
株式会社データコントロール 代表取締役(※)
横浜国立大学 元学長・顧問(☆)
日本信号株式会社 代表取締役会長(※)
MIK International会長/米国三和銀行元会長(☆)
元ザンビア駐節特命全権大使/元ニュージランド駐節特命全権大使(☆)
大学院大学至善館 学長(☆)
ロート製薬株式会社 代表取締役会長(※/☆)

株式会社アドイン研究所 代表取締役社長/日本スタンフォード協会元会長(※)

株式会社セブン&アイ・ホールディングス創始者、名誉会長
国際海洋法裁判所 元裁判所長、元外務事務次官・駐米大使
(米国:☆)(日本:※) 五十音順